

2018年度 最終 1月京大本番レベル模試地理 採点基準

1 単答記述問題

誤字，脱字，漢字間違いは0点。

2 論述問題

① 「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。

② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

3 共通減点基準

① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは1点減点。

② 下線の付け忘れは1点減点。

③ 指定用語不使用は1点減点。

④ 字数オーバーは1点減点。

*減点しなくていい要素，その他の注意

① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇔スロベニア，パキスタン⇔パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。

② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は0点だが，減点はしない。

③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。

④ 文章が未完のものも減点しない。

4 採点記号について

1. <□□□□> 加点ポイント
2. □□□□× 事実に誤認あり
3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

5 設問別加点基準

- 1) _____部分は必須キーワードであり、この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「② (①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。

I

問(1) ①② 各5点 (順不同)

①または②

河川の記号が破線であるため、水無川とわかる。砂礫が堆積した扇状地を流れており、水は扇頂付近で浸透し、扇央で伏流している。

【加点ポイント】

- ① 水無川／涸れ川 である →2点
- ② (①の根拠として) 河川の記号が 破線／点線／———である →1点
- ③ (①の成因として) (川の水が) 伏流している／地下を流れている →1点
- ④ (③の要因として) 砂礫が堆積している／粒子の粗い地層である →1点

①または②

国道や私鉄線のトンネルが河川の下を通るため、天井川とわかる。砂礫運搬量が多く、堤防を高めるたびに堆積で河床が高まった。

(別解)

河川に交わる等高線が低い方に凸であるため、天井川とわかる。砂礫運搬量が多く、堤防を高めるたびに堆積で河床が高まった。

【加点ポイント】

- ① 天井川である →2点
- ② (①の根拠として) 河川の下を 国道／私鉄／線路／トンネル が通る
／河川に交わる等高線が低い方に凸である →1点
- ③ (①の成因として) 河床に土砂が堆積した／河床の高さが周囲より高くなった →1点
- ④ (③の要因として) (人工の) 堤防を築いた →1点

※「自然堤防が高まった」は不可

問(2) 6点

河川の氾濫に際して溢れた水を一時的に貯留する遊水池としての役割を果たしている。

【加点ポイント】

- ①遊水池である／一時的に水を貯めるためのもの →3点 (※「遊水地」は2点)
- ②河川の氾濫の際／洪水の際 →3点
(※「大雨」「集中豪雨」「台風」など、川の氾濫に触れていない場合は 2点)

問(3) 3点

自然堤防の微高地上に立地する。

【加点ポイント】

- ①「自然堤防上」であることがわかれば →3点

問(4) 名称 2点 傾動山地／傾動地塊

問(4) 形成要因 4点

断層運動によって一方が傾いたため。

【加点ポイント】

- ①断層運動／断層ができた →3点
- ②(①により) 一方が傾いた／一方だけ急斜面になった →1点
- ※①②を合わせて 「山の片側が断層崖になっている」 →4点

Ⅱ

問(1) 各1点

ア：F イ：C オ：A

問(2)① 3点

石油危機で原燃料費が高騰し、太平洋ベルトの臨海指向型の重工業が斜陽化したため。

【加点ポイント】

- ①石油危機 →1点
- ②原燃料費／原油 の高騰／値上がり →1点
- ③重工業／重化学工業／鉄鋼業や造船業／臨海指向型工業 が斜陽化した／衰退した
→1点

問(2)② 4点

土地と人件費の安価な農村地域に地方空港や高速道路が建設され、ハイテク工場が多数進出したため。

【加点ポイント】

- ①ハイテク工場／半導体工業／IC工場／コンピュータ関連工業など が進出した →2点
- ② (①の理由として) 土地が安い／人件費が安い／広い土地が得られる
／工業団地が整備された →1点
- ③ (①の理由として) 空港／高速道路 が整備された →1点

問(3) 3点

関連工場が集積した地域に立地し続ける自動車工業が盛んなため。

【加点ポイント】

- ①自動車工業／自動車産業／輸送機械工業 が盛ん →1点
- ② (①の特徴として) 関連工場が集積する／集積指向型工業である →1点
- ③ (②の特徴として) 同じ土地に立地し続ける／創業地の立地が有利である →1点

問(4) 4点

日米貿易摩擦と円高を背景に、対米輸出を減らして現地生産を行う企業が増えたこと。

【加点ポイント】

- ① (日米) 貿易摩擦 →2点
- ② (1985年のプラザ合意以降の) 円高 →2点

問(5) 各1点

い：c ろ：b

問(6) 各2点 (順不同)

- ・河川水や原料の木材を豊富に得られる。
- ・需要が大きく古紙の回収にも有利な大都市近郊である。
- ・手漉き和紙の時代からの紙の産地である。

【加点ポイント】

- ①原料（木材）／きれいな河川水 が得られる →いずれかで2点
(原料と河川水を2つの項目として述べているものは、それぞれ △1点)
- ②大都市近郊 + 古紙回収 →2点 (片方のみは △1点)
- ③和紙の産地 →2点

Ⅳ

問(1) 各1点

A：ユダヤ B：ギニア C：ハワイ

問(2)記号 1点 P

問(2)理由 2点

主要送出国であるメキシコに近い南西部諸州で比率が高いから。

【加点ポイント】

- ①メキシコに近い州／南西部の州（で比率が高い）→1点
- ②（ヒスパニックは）メキシコが主要送出国である／メキシコ出身者が多い
／メキシコを通過してアメリカ合衆国に来る／フロリダ州でも比率が高い →1点

問(3) 1点 X

問(4) 2点

英語に加えてフランス語を公用語とし、複数の民族が持つ文化の共存を認める多文化主義政策を導入した。

【加点ポイント】

- ①フランス語を公用語にした →1点 （※フランス語のみ公用語とした →不可）
- ②多文化主義を導入した →1点

問(5) 4点

好況時の労働力不足を解消するために出入国管理法が改正され、未熟練労働力として日系移民の子孫を受け入れることになったため。

【加点ポイント】

- ①日系移民の子孫／日系3世まで を受け入れた →1点
- ②（①は）未熟練労働力／単純労働者 であった
／単純労働／肉体労働 が許された →1点
- ③（①②のために）出入国管理法／入管法 を改正した →1点
- ④（③の目的として）労働力不足／人手不足 の解消 →1点

問(6) 4点

北部にはオランダ語を話すフラマン人、南部にはフランス語を話すワロン人が居住している。

【加点ポイント】

- ① 北部 + フラマン人／フランドル人／フラマン語を話す民族 →1点
- ② (①は) オランダ語を話す／オランダ系 →1点
- ③ 南部 + ワロン人／ワロン語を話す民族 →1点
- ④ (③は) フランス語を話す／フランス系 →1点

問(7) 各1点

- ① : バスク人 ② : カタルーニャ人

問(8) 各1点 (順不同)

- ・ イスラーム／イスラム教
- ・ 東方正教／セルビア正教／正教会／ギリシャ正教
- ・ カトリック (※「キリスト教」は不可)

問(9) 3点

北部のトルコ系住民と、南部のギリシャ系住民が対立している。

【加点ポイント】

- ① トルコ系住民とギリシャ系住民の対立である →2点
- ② (①について) 北部はトルコ系で南部はギリシャ系である →1点

Ⅳ

問(1) 2点

ロシアは複数の標準時があるが、中国は東経120度線を基準とする標準時だけである。

【加点ポイント】

- ①ロシアは複数(11)の標準時がある →1点
- ②中国の標準時は1つである(※東経120度線はなくても可だが、誤った経度が書かれている場合は不可) →1点

問(2) 各1点 (完答)

A:チベット高原 B:スーチョワン盆地/四川盆地
C:タリム盆地 D:ホワンツー高原/黄土高原

問(3)① 1点

ツンドラ気候区/E T気候区/E T

問(3)② 3点

ディクソンは緯度が高いことにより、ナッチュは標高が高いことにより気温が低いため。

【加点ポイント】

- ①(両都市とも)気温が低い/最暖月10°C未満 →1点
- ②(①の理由として)ディクソンは 緯度が高い/北極に近い →1点
- ③(①の理由として)ナッチュは 標高が高い/高山である →1点

問(4) 完答 3点

小麦の輸出量:う 木材の輸出量:い 水産物の輸出額:あ

問(5) 2点

モスクワでは広場を中心とした放射環状路型、ペキンでは直交路型の街路網が広がる。

【加点ポイント】

- ①モスクワは放射環状路型である →1点
- ②ペキンは直交路型である →1点

問(6) 4点

ロシアではソ連解体により経済が混乱したため、中国では1970年代末以降、一人っ子政策を採用してきたため出生率が低下した。

【加点ポイント】

- ① (どちらの国も) 出生率が低下した
／どちらの国も出生率が低下し、ロシアでは死亡率が上昇した →1点
- ② (ロシアの要因として) ソ連解体／ソ連崩壊／ソ連からロシアに変わった
／社会主義(計画経済)から資本主義(市場経済)への転換 →2点
- ③ (中国の要因として) 一人っ子政策 →1点

問(7) 各1点

E: ウーハン F: マグニトゴルスク

問(8) 4点

ロシアはエネルギー資源、中国は工業製品を中心に輸出し、いずれも今世紀に輸出額を伸ばしているが、特に中国の成長が著しい。

【加点ポイント】

- ① (ロシアについて) エネルギー資源／原油や天然ガス が輸出の中心である →1点
- ② (ロシアについて) 輸出額は 増えている／約3倍となっている →1点
- ③ (中国について) 工業製品／機械類や衣類／労働集約型工業の製品
が輸出の中心である →1点
- ④ (中国について) 輸出額は 著しく増えている／約10倍となっている →1点